



「学び、考える過去・未来 IN関西 〜いざ、自由と責任の旅へ〜

修学旅行に行ってきました!!

5月18日～20日の2泊3日。大阪万博から始まり、京都・奈良への修学旅行に行ってきました。当日まで心配されたお天気でしたが、3日間とても良い天気で、私たちの修学旅行をサポートしてくれました。旅行中は、班別研修やホテルで小さなトラブルはあったものの、リーダーを中心に考え、話し合うことで乗り越え、終始笑顔があふれていたように思います。旅行前は、体調が心配な生徒もいましたが、大きな事故や体調不良やけがも出ず、3日間過ごすことができたことが何よりです。学校生活の延長である修学旅行ですが、寝食を共にし、長時間一緒に過ごすことで、普段、学校では見せない頑張りやよさが輝いていました。ここでは、その一部を紹介させていただきます。

ほっこりエピソード①

万博会場では、各クラス、予約パビリオンを1つずつ見学。それぞれ時間が違ったので、広い会場、予約時間に間に合うか・・・と心配していましたが、全てのクラスが時間通りに集合。一班だけ、予約パビリオンとは別方向に進んでしまい、間に合わない?！と思いましたが、GPS携帯で連絡を取り合い、時間にしっかり間に合わせることができました。時間を守ろうと必死に走ってくる姿。ピンチになっても、班員みんなで協力し、たどり着いたときの泣きそうな笑顔にほっこり。万博内で、私を見つけると「〇〇のパビリオンが楽しかったよ」「すごく並ぶと思ったけど、あっという間に入ることができたよ」「海外の人と会話することができたよ」「行きたかったパビリオンに行くことができた!」と笑顔で報告してくれる人が多数。心配もありましたが、なかなか体験できない万博に行くことができて良かったです。

ほっこりエピソード②

2日目の班別研修では、バスを乗り間違えてしまったり、計画していた食事処が臨時休業だったりと思うようにならないことがありましたが、みんなで知恵を出し合い、乗り越えることができました。事前学習の中で、「班別研修のお昼は地元ならではのものを食べよう!」と計画を立て、コンビニやファストフード等はやめましょうと話していました。楽しい修学旅行にするために「ルールは守らなければいけない!」と他のお店を探したけれど、見つからず困り、計画していた食事処がお休みだった班が出した答えは・・・本部携帯にかけ、コンビニで昼食を購入する許可を得ることでした。(2班ありました)緊急事態だったので、事後報告もできたはずなのに、事前に許可を得ようとする素直な南中生にほっこり。

ホテルでの様子。これが今回の一番の課題でした。ホテルで過ごす経験も少なく、話し声や足音がどれだけ響くかなんて考えることもなかったと思います。学校で意識して行っている「黙動」がここで生きてくるはずだったのですが・・・なかなか上手いかず、急遽招集した実行委員会。実行委員会のメンバーは、自分たちにできることを一生懸命話し合い、即実行。自ら考え、実行することで、みんなの笑顔を支えた実行委員たちのがんばりにほっこり。

ほっこりエピソード③

3日目はクラス研修でした。そこでの昼食会場での出来事。みんなが席を立った後、忘れ物がないかを確認したり、座席を整えたりしてくれる人たちがいました。帰るときには、お店の方に「おいしかったです。ごちそうさまでした」と伝えるみんな。その姿に感動したお店の方が満面の笑顔で「嬉しいです。皆さんとても素敵な生徒さんですね。」と声をかけてくださいました。体験学習の場でも、体験終了後、係の方(御高齢者)とハイタッチをする人たちが。「こんなに素直で朗らかな子たち、なかなかいませんよ。来てくださってありがとうね」と声をかけてくださいました。こちらでも素敵な出会いが。

挙げ始めたら、次から次へと出てくる「ほっこりエピソード」です。この3年生なら、いろいろな場面で、もっとその力を発揮してくれると確信しました。

南中生の頑張りによって大成功に終わった修学旅行ですが、これも御家庭の協力があったのだと思います。改めて感謝申し上げます。この修学旅行での頑張りや自信を変え、今後の生活に生かし、中体連・コンクール、南中祭、受験へとつなげていきたいと思っています。さらなるご協力をお願いいたします。



大阪万博での記念撮影



1組



2組



3組



4組



5組

「50年後の未来を考える」をコンセプトとした大阪万博。50年後の未来が、ここにいるすべての人にとって、明るく温かいものであって欲しいと願うと共に、みんなが創り上げる50年後の未来は、きっと素晴らしいものになると確信をもつことができる旅となりました。

